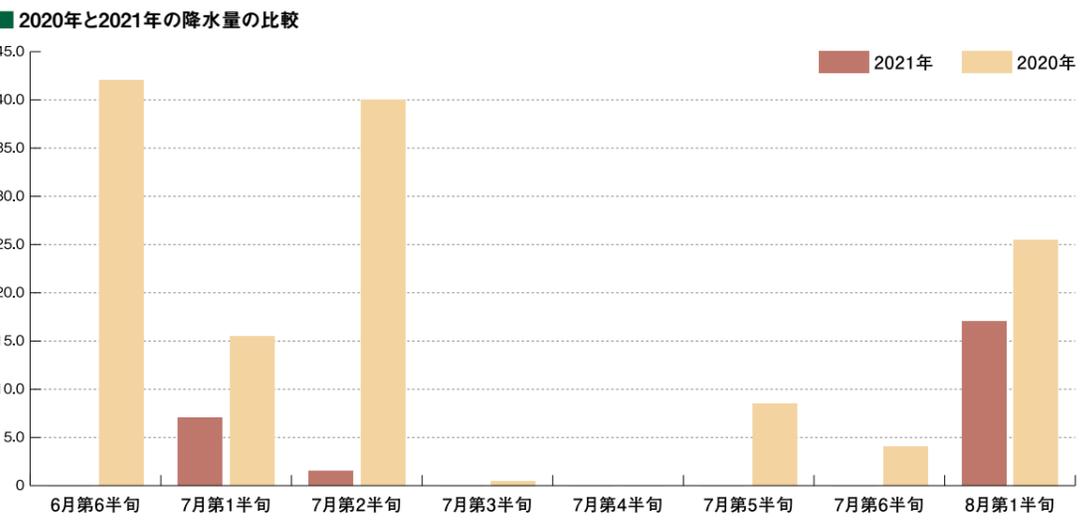


Let's TRY!

ポテトール® 現地レポート

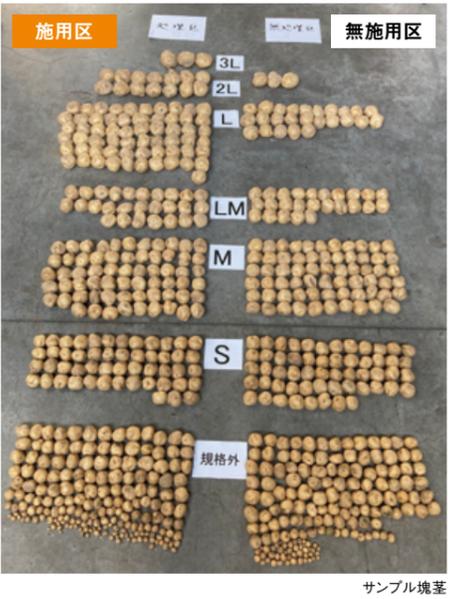
試験内容 後志管内の生産者圃場で実施。ポテトールを1000倍に希釈し、2021年6月23日、6月28日、7月4日の3回、疫病防除時に施用した。収量調査は、施用区、無施用区から10株を3カ所から掘り取り、比較した。
●調査日…2021年8月24日 ●品種…男爵薯

<現地の気象条件(降水量)>
2021年は7月からの降水量が少なく、著しい干ばつ条件。ばれいしょの塊茎肥大には不利な条件でした。



■試験結果

	規格別収量 (g)						収量合計	塊茎個数 (個)	塊茎1個重
	3L	2L	L	LM	M	S			
施用区	892	2,999	9,124	2,894	5,216	3,074	24,199	220	110.0
無施用区	0	653	3,538	2,663	5,407	3,359	15,620	174	89.8
施用/無施用 (%)	—	459%	258%	109%	96%	92%	155%	126%	123%



サングリン営業担当者よりコメント
各区3カ所から合計30株の塊茎を掘り取り、比較した結果、ポテトール施用区は約55%収量が増加しました。また、ポテトール施用区は2L、Lの比率が高く、規格が上振れ、平均1個重が23%増加しました。極端な干ばつ条件だったため、圃場内のばれいしょの生育にばらつきが大きく、サンプルが偏った可能性はありますが、それを加味しても気孔開口促進効果による増収効果は大きかったのではと考えています。

本商品についてのお問い合わせ先

株式会社サングリン太陽園 農業肥料グループ **TEL 011-892-6281**

あなたの代わりに
トライアル!

展示圃優良事例紹介

「ポテトール®」を、使ったら。

サングリングループでは、さまざまな作物に対し、薬剤や技術の試験活動を行っています。今回は、バイオスティミュラントとして認められている液体微量要素複合肥料、「ポテトール®」の試験結果をお伝えします。

使用した製品

植物由来の光合成促進成分で収量アップ!

ポテトール®

OATアグリオ株式会社



作物の気孔開度を調節することで光合成を促進!
増収・環境ストレス軽減・品質向上の三拍子そろった期待の肥料

ポテトールは、光合成を促進する植物由来成分を配合した液体微量要素複合肥料です。この光合成促進成分には作物の気孔開度の調節作用があり、気孔コンダクタンス(気孔を流れる気体量)が無処理時と比較して約10%アップすることから、二酸化炭素の流入が高まり、光合成が促進されます。鹿児島県で行われたばれいしょの光合成速度測定の実験事例(図1)では、ポテトール処理区の光合成速度が9~22%向上しました。

さらに、ポテトールに含まれている保湿成分のトレハロースは、環境ストレスの軽減に効果を示し、苦土・有機酸・カルシウム・ホウ素・各種微量要素は収穫物の品質向上が期待できます。OATアグリオ株式会社では、このポテトールをバイオスティミュラントに認定。非生物学的ストレスによる作物への影響に強く、健全やかな成長を促してくれる注目の製品です。

■ポテトールの成分組成

保証成分 (%)			配合成分 (%)				その他
水溶性マンガン	水溶性ホウ素	水溶性苦土	カルシウム	鉄	銅	亜鉛	
0.2	0.5	2.0	2.75	0.2	0.05	0.2	植物由来成分 ・トレハロース

■使用方法

作物	使用時期	目的と効果	希釈倍率	水量(10a)	使用方法
ばれいしょ	塊茎肥大期(着蕾期~落花期)	光合成促進による増収	1000倍	100~300L	葉面散布
かんしょ	収穫60~30日前		500倍	100~200L	

・7~14日間隔での複数回散布を推奨します。
・ばれいしょでは、着蕾期から落花期(塊茎形成期~塊茎肥大期)に7日~10日間隔で3回、疫病防除時の施用をおすすめしております。

